

KPI（重要業績評価指標）マネジメントとESG投資

～CSV、SDGsそしてESG投資に資する

KPIマネジメントの方向性を考える～

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

【開催要領】

日時▶ 2018年 2月 14日(水) 13:00～17:00

会場▶ 企業研究会セミナールーム（東京：麹町）

【開催にあたって】

ROE経営への関心もありKPIマネジメントの導入や改良に踏み切る組織が増えています。さらに機関投資家のESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した投資が広がりを見せる中で、非財務情報/KPIのマネジメントとステークホルダーへの開示の重要性が増してきました。1)KPIマネジメントの基本を押さえた上で、2)戦略マネジメントにおけるKPIの取り扱いについて解説し、3)CSV(共通価値の創造)やSDGs(持続可能な開発目標)戦略の下でのKPIマネジメントのあり方について、関連するフレームワークを紹介しながら検討します。

講師 キュー・エム・コンサルティング 取締役社長 公認会計士 松原恭司郎 氏

国際会計事務所系コンサルティング会社などを経て1992年に独立。バランス・スコアカード、ビジネスモデル関連のコンサルティング業務に従事。SBI大学院大学客員教授、東北福祉大学兼任講師。元 中央大学大学院特任教授。主な著書に『図解「統合報告」の読み方・作り方』(2014)中央経済社、『松原謙：戦略マップ/BSC実践教本』(2010)、『ビジネスモデル・マッピング教本』(2013)、『ROE重視のKPIマネジメント教本』(2016)日刊工業新聞社などがある。



【申込方法】 当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申し込み下さい。

企業研究会Q 検索

■受講料：1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の使用法(0発信の有無など)をご確認の上、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正会員	34,560円(本体価格 32,000円)	一般	37,800円(本体価格 35,000円)
-----	-----------------------	----	-----------------------

171250-0101(※) KPI(重要業績評価指標)マネジメントとESG投資			
ふりがな 会社名			
住所			
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 機 関	役 職	
E-mail			

※申込書にご記入いただいた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■申込・参加要領 : 当会ホームページからお申込みください。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前まで)に受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町M-SQUARE 2F

・プログラム・

1. KPIマネジメントの基本を確認する

- (1) KPI(重要業績評価指標)とは
 - ・定義、メリット他
- (2) KPIの8つのタイプ
 - ・財務と非財務、遅行と先行、ハードとソフト他
- (3) KPIのPDCAサイクルをうまく廻す
 - ・KPIと目標値の設定、KPIのモニタリング他

2. 戦略レベルのKPIマネジメントの特徴を押さえる

- (1) 戦略ストーリーの構築から始める
 - ・戦略は仮説のセットである、戦略をストーリーで語る
- (2) 戦略マネジメント・システムの主流である戦略マップ/BSC(バランス・スコアカード)を活用しよう
 - ・四つの視点、戦略マップのテンプレート、戦略目的を決めてからKPIを設定する他
- (3) 3つの戦略タイプの選択で差別化を図る
 - ・ローコスト、顧客親密性、製品/サービスの革新性
- (4) 戦略マネジメントのPDCAサイクルの特徴を押さえる
 - ・戦略の部門展開、シェアードサービスとの連携、戦略修正のためのダブルループ学習他
- (5) ステークホルダーへの戦略とKPIの開示
 - ・IIRCの「国際統合報告フレームワーク」、通産省の「価値協創ガイダンス」における取扱い他

3. CSV、ESG投資に資するKPIマネジメントの方向性を考える

- (1) CSVやESG投資に係る主なコンセプトを整理する
 - ・「CSV(共通価値の創造)」、「CSR(企業の社会的責任)」、「トリプル・ボトムライン」他
 - ・国連の「SDGs(持続可能な開発目標)」
 - ・「ESG(環境・社会・ガバナンス)投資」
- (2) CSVやESG投資に係る主なフレームワークとKPIの取り扱いを知る
 - ・国連グローバル・コンパクト外の「SDG Compass」による目標設定とKPIの取り扱い
 - ・経産省の「伊藤レポート2.0」と「価値協創ガイダンス」によるESGとSDGsそしてKPIの取り扱い
- (3) 戦略マップを活用したCSV、SDGsの事業戦略への組み込みとKPIマネジメント

※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。
※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。